

令和7年度(2025年度)熊本県立学校スーパーティーチャー(指導教諭)紹介

勤務校	熊本県立盲学校		
氏 名	茂村 広(しげむら ひろし)	教科(科目)	理療

【1 自己紹介・プロフィール】

荒尾市で中学校までを過ごし、視力の低下により高校からは盲学校に入学しました。

盲学校専攻科である摩マッサージ指圧、鍼、きゅうの国家資格を取得した後、盲学校理療科教員の養成施設である筑波大学理療科教員養成施設で学びました。そして平成9年度より熊本県立盲学校に勤務し本年で29年目となります。

現在はあん摩マッサージ指圧師、鍼師、きゅう師を目指す生徒の指導を行うと同時に、視覚障がい教育の専門性の継承と向上に向けてと取り組んでいます。

【2 研究テーマや授業等における取組(心がけていること)】

予測不可能な社会の変化に対する柔軟な対応やイノベティブな発想が期待される現在、障がいがある人や、自分は人とはどこか違うと感じている少数派の人達が自信を持って考え方を発信できる社会であることが大切だと感じています。その様な状況の中、視覚障がいの理解と支援を考えることを通して、ノーマライゼーションの考え方を多くの人に浸透させたいと思っています。

教科指導(理療)においては、全人的アプローチに重きを置いた治療法であり、世界的にも注目が高まっている「あん摩マッサージ師圧、鍼、きゅう治療」の魅力を、生徒達にしっかり伝えて行きたいと考えています。

【3 研修・講演、情報提供が可能なテーマや事項】

人権教育:障がい者理解(視覚障がい者、または障がい者全般)

人権教育:様々な差別と心理的背景、または構造的背景

インクルーシブ教育:地域で学ぶことのメリットと特別支援学校で学ぶことのメリットについて

保健:人体の構造と機能(骨格筋や関節の仕組み等)

保健:臨床医学的内容(各疾患の概要、診断、治療)

【4 これまでの主な活動実績】

- ・障がい者理解に関する県内各学校における講話(小・中・高・大)
- ・県内初任者研修等における講話(自立活動、障がい者理解等)
- ・教育センターでの研修
- ・視覚サポートネットワーク「みるくまネット」の事務局運営による関係各機関の連携強化
- ・公共施設等のバリアフリーの取り組みにおける視覚障がい当事者としての参画
- ・平成28年 熊本地震における視覚障がい被災者支援特別委員会の運営・支援活動
- ・令和6年 北海道札幌・旭川・帯広・函館視覚支援学校職員研修会講師(オンライン)「視覚障がいと概念形成」

【5 学校や関係HPのアドレス等】

熊本県立盲学校ホームページ <https://sh.higo.ed.jp/kumamo/>